

1-1 (一社) 佐賀県水泳連盟 (競泳・OWS)

項 目		内 容
選考方法		競泳・オープンウォータースイミング (OWS) は、当該年度の「佐賀県選手権水泳競技大会」で行う。
選考基準		競泳の個人種目は、佐賀県水泳連盟が定める標準タイム 競泳のリレー種目は、入賞を目指して出場する。 オープンウォータースイミング (OWS) は、日本水泳連盟が定める第78回国民スポーツ大会OWS競技要項に準ずる。
選考の内容		競泳の個人は、佐賀県選手権水泳競技大会出場種目から、 当該年度4月1日～7月中の長水路タイムが、 佐賀県水泳連盟が定める標準タイムを突破している一番速い者を選出する。 競泳のリレーは、別途考慮する。 オープンウォータースイミング (OWS) は、日本水泳連盟が定める第78回国民スポーツ大会OWS競技要項に準ずる。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 競泳委員長
	担当者名	沖田 祥章

1-2 (一社) 佐賀県水泳連盟 (水球)

項 目		内 容
選考方法		一次選考：少年男子13名、女子13名を強化指定候補選手として、水球強化担当部会にて選出。 二次選考：少年男子13名、女子13名を国スポ候補選手として、水球強化担当部会にて選出。 最終選考：SAGA国スポ候補選手について、少年男子13名、女子13名を(一社)佐賀県水泳連盟にて選出
選考基準		候補選手の選考については、水球競技強化担当部会において、1月から4月に実施した合同練習会への取り組みを基本に泳力や戦術理解力及び、練習試合等で応用力等を見極めて国スポ候補選手を選出した。
選考の内容		一次選考：1月から2月にかけて実施した合同練習会にて選考 二次選考：3月から4月にかけて実施した合同練習会にて選考 最終選考：二次選考までの結果をもとに(一社)佐賀県水泳連盟にて選考
その他		選考対象選手は、当該年度(公財)日本水泳連盟に選手登録が完了した者であること。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 水球担当
	担当者名	濱野 文一

1-3 (一社) 佐賀県水泳連盟 (アーティスティックスイミング)

項 目		内 容
選考方法		ASを競技として取り組んでいる者で九州ブロックを突破の可能性のある者
選考基準		本国スポに参加を期待できる選手
選考の内容		競技人口が少ないためにまずは、ASをしっかりと取り組んでいる選手
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 AS担当
	担当者名	阿世賀 紀光

1-4 (一社) 佐賀県水泳連盟 (飛込)

項 目		内 容
選考方法		飛込は、各都道府県水泳連盟（協会）が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをすることができる。また、予備エントリーをした都道府県には1名の出場枠を与える。予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場人数を決定する。
選考基準		国スポ予備エントリーの結果をもとに、国民スポーツ大会において上位入賞が期待できる選手を選考する。
選考の内容		各都道府県水泳連盟（協会）が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをする。 1) 成年の部対象競技会 ① 関東選手権 ② 関西選手権 2) 少年の部対象競技会 ① 地域高等学校選手権 ② 全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会 予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場選手数を決定し、各加盟団体へ通知する。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 飛込担当
	担当者名	原口進也

2 佐賀県ローイング協会

項 目		内 容
選考方法		一次選考：国スポ出場意志がある選手を、強化部が強化指定選手に指名。 (成年男女、少年男女、各15名まで) 二次選考：少年選手は6月に選考レースを行い、強化部でクルー編成を検討。 成年選手は当該年度の大会成績を基に、強化部でクルー編成を検討 最終選考：SAGA国スポ出場選手を、成年男女・少年男女・各9名を佐賀県ローイング協会より指名
選考基準		強化練習、選考レース、前年度・該当年度の大会成績、ローイングマシンのタイム等、総合的に勘案し、国スポで上位入賞を期待できる選手。

選考の内容		一次選考：前年度に、全選手との面談（成年選手は電話等。） 二次選考：前年度11月から5月までの期間に強化練習会を月1回実施し、水上パフォーマンス及びタイムの測定。 最終選考：6月から7月までの期間に強化練習会を月2回実施 少年は6月に選考レース行う。
その他		佐賀県ローイング協会の会員であること。 県外選手は、ふるさと選手に該当する者。 国スポ出場選手に指名された者は、日本ローイング協会の選手登録を行うこと。
問合せ先	名称	佐賀県ローイング協会
	担当者名	強化部 宮谷康裕

3 （NPO法人）佐賀県ヨット連盟

項 目		内 容
選考方法		成年 一次選考：男女各相当数を選手強化部より指名 最終選考：当該国スポに男女各4名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名 少年一次選考：男女各相当数を強化選手として選手強化部より指名 最終選考：当該国スポに男女各3名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名
選考基準		強化練習、全九州規模以上の大会成績等、総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待出来る選手且つ、強い意志を持って大会に挑む選手を選考
選考の内容		一次選考：3月～4月出場意志・強化活動内容の周知を行いその内容を承諾。 6月末までの大会成績を基に個人ポイントを付ける。 最終選考：6月から7月までの期間に予選会（指定大会を含む）を実施しポイントを該当者に付与する。個人ポイントの得点上位者より艇種及びポジションを考慮し最終選考とする。 大会成績でのポイント付与については、各大会以前に該当者へ周知する。
その他		参加者は、日本セーリング連盟及びNPO法人佐賀県ヨット連盟の会員登録を行っていること。
問合せ先	名称	NPO法人 佐賀県ヨット連盟 選手強化部
	担当者名	中山 英弘

4 （一財）佐賀陸上競技協会

項 目	内 容
選考方法	○県記録会、県陸上競技選手権、国スポ選考会での3大会より、各種目男女2名程度を強化選手とし強化部より指名する。 ○令和6年度の九州大会、全国大会等の実績を考慮し強化選手とし強化部より指名する。 ○佐賀国スポで設定されている種目から29名を選出し強化部より指名する。

選考基準	強化練習、県記録会、県陸上選手権、国スポ選考会の大会成績等、総合的に勘案し、本国スポで入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：県記録会（4/20-21）、県陸上選手権大会(5/11-12)及び 選考会の内容を基に選考 二次選考：国スポ選考会（7/6）の内容を基に選考 最終選考：一次・二次選考と九州大会以上の実績を考慮し選考	
その他	佐賀陸上競技協会の会員であること。 また、ふるさと登録を佐賀にてしていること。	
問合せ先	名称	（一財）佐賀陸上競技協会
	担当者名	丸小野 仁之

5 （一社）佐賀県サッカー協会

項 目	内 容
選考方法	○各委員会等からの推薦 1 少年男子チームの選考:基盤として佐賀県独自で取り組んでいる「トレセン制度(U11~U16まで 段階的な選抜選手による強化練習会)」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手を4月から月2回のトレセンを実施し、国体スタッフ5名(監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務)が推薦する。 2 少年女子チームの選考:基盤として佐賀県独自で取り組んでいる「トレセン制度(U11~U16まで 段階的な選抜選手による強化練習会)」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手並びに県内クラブに新たに加わった有望選手を、4月から月1~2回のトレセンを実施し、国体スタッフ5名(監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務)が推薦する。 3 成年男子チームの選考:4月~7月にかけて3回の選考会を実施し、国体スタッフ5名(同上)が推薦する。 4成年女子チームの選考:4月~7月にかけて3回の選考会を実施し、ふるさと選手と活動可能な選手の状況も踏まえ、国体スタッフ5名(同上)が推薦する。 ○選考決定 技術委員会(委員長、副委員長、国体スタッフ各5名ずつ)を開催し上記1~4からの推薦者について、協議・選定して、サッカー協会会長へ推薦する。サッカー協会会長が(常務理事会を開催し)最終的に承認し認定する
選考基準	・選考の基準とするチェックシート(4段階評価、A監督の目標とするチーム戦術理解度、B技術、C 体力、D個人戦術、Eサッカーの理解度)を選考スタッフが選手個別に評価する。 ・県大会、選考会、U16九州トレセン大会(少年男子)の成績等、総合的に勘案し、本国体及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考

選考の内容	国体スタッフが考えるゲームモデルを念頭に、個々の特徴を勘案し、国体スタッフ全員で選定している。	
	1 少年男子 一次選考:4月中旬選考会、4月下旬のU16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考:5月から6月までの期間に強化練習会を複数回実施 最終選考:7月から8月にかけて強化合宿遠征を含めた練習会を複数回実施	
	2 少年女子 一次選考:4月中旬選考会、4月下旬のU16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考:5月から6月までの期間に強化練習会を複数回実施 最終選考:7月から8月にかけて県内強化合宿や強化遠征を含めた練習会を複数回実施	
	3 成年男子 一次選考:九州リーグ、県内リーグ、大学リーグの担当者から候補選手を推薦してもらい6月上旬に 一次選考会 二次選考:6月中旬から週1~2回のペースで強化練習会を実施 最終選考:7月から8月にかけて強化遠征を含めた練習会を複数回実施	
選考の内容	4 成年女子 一次選考:ふるさと選手を考慮に入れながら女子委員会で候補選手を選出 二次選考:6月中旬から週1~2回のペースで強化練習会を実施 最終選考:7月から8月にかけて強化遠征を含めた練習会を複数回実施	
	・選考チェックシートを活用(4段階評価) 選考時に「A監督の目標とするチーム戦術理解度」、「B技術」、「C体力」、「D個人戦術」、「E サッカーの理解度」「F 個人の特徴」の6つの項目でのチェックシート	
	問合せ先	名称 一般社団法人佐賀県サッカー協会
	担当者名	中西 順也

6 佐賀県テニス協会

項 目	内 容
選考方法	成年 一次予選：男子 トーナメントによって上位3名を二次選考へ 女子 トーナメントによって上位2名を二次選考へ 二次予選：男女各6名の総当たり戦で上位2名を代表に選ぶ
	少年 男子：高校総体から上位6名+協会推薦者2名 女子：高校総体から上位7名+協会推薦者1名
選考基準	各予選会で勝ち上がった選手を代表とする
選考の内容	令和6年度予選会 成年 男子 7月13日、14日 女子 5月18日、19日 少年 男女 6月1日、2日 全て総当たり戦で行い上位2名を代表とする。

問合せ先	名称	太閤テニスクラブ
	担当者名	森 泰一

7 佐賀県ホッケー協会

項 目		内 容
選考方法	少年男女	監督・コーチが強化選手選出を行いヘッドコーチの承認後決定
	成年男女	監督・コーチ・キャプテンが強化選手選出を行いヘッドコーチの承認後決定
選考基準	少年成年男女	強化練習、各種の大会での活躍等、総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容		4月から7月までの期間、強化練習活動の内容を基に選考
その他		参加者は佐賀県ホッケー協会の会員、またはふるさと選手であること。 また、日本ホッケー協会登録費を完納していること。
問合せ先	名称	佐賀県ホッケー協会事務局
	担当者名	事務局長：川原邦弘

8 佐賀県ボクシング協会 ※国スポは実施なし

項 目		内 容
選考方法	1次選考：少年・成年男子の強化指定選手を選考する	
	2次選考：国スポ強化選手として少年・成年男子16名・成年女子2名を選考する	
選考基準	少年の部は佐賀県総体・全九州総体の成績内容や県外練習試合等を参考に、 また他県の選手エントリー状況を予想し、ベストメンバーを選考していく 成年の部は大学リーグ戦の成績や、日頃の練習活動状況を見て、 エントリー前に選考会を開き選考する	
選考の内容		上記選考基準のもとにスパーリング選考会をおこなう
その他		選手登録は必須事項である
問合せ先	名称	佐賀県ボクシング連盟事務局
	担当者名	前田 真一

9 佐賀県バレーボール協会

項 目		内 容
選考方法	一次選考：強化選手を選考母体として、強化対策委員会より指名	
	二次選考：一次選考を国体候補選手原案として強化委員会より指名	
	最終選考：SAGA2024国スポ選手男女各12名を佐賀県バレーボール協会常任理事会にて承認	
選考基準		協会内「*SAGA2024国スポ選手等選考基準」にて選考 *：別紙参照

選考の内容	一次選考：関係する下記の大会成績等の内容を基に選考 最終選考：6月から7月までの期間に強化練習会を実施し選考 記	
	○強化練習会および○国体予選会 ○高校新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○高校総合体育大会 ○全日本高等学校選手権大会（春高バレー） ○天皇杯・皇后杯県ラウンド○ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会佐賀県予選会 ○全日本ビーチバレージュニア男子選手権佐賀県予選会	
その他	参加資格は、（公財）日本バレーボール協会2021年度MRS登録済みの佐賀県在住者及び、県内高校生、ふるさと選手	
問合せ先	名称	佐賀県バレーボール協会
	担当者名	池上 寿伸

国民スポーツ大会バレーボール競技代表選手・監督選考に関する申合せ

国民スポーツ大会において上位入賞を目指す為に、次の選考基準を設ける。

佐賀県バレーボール協会

1 選手選考について

(1) 少年男女の部

- ① チーム構成は、原則として県内高校生から選抜された選手とする。
- ② 候補選手の選考は、下記の大会を基準として佐賀県バレーボール協会国民スポーツ大会強化対策委員会（以下、国スポ対策委員会）及び佐賀県バレーボール協会強化委員会（以下、強化委員会）が総合的に判断して選出する。
○新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○佐賀県高校総合体育大会
○全日本高等学校選手権大会（春高バレー）佐賀県大会
- ③ 候補選手は、佐賀県バレーボール協会常任理事会（以下、常任理事会）に諮り、常任理事会で審議して最終決定する。
- ④ 選手に欠員が出た場合は、強化委員会が審議選出し国スポ対策委員会に諮る。国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。

(2) 成年男子の部

- ① チーム構成は、佐賀県在住者の中から選抜した者及びふるさと選手とする。

(3) 成年女子の部

- ① チーム構成は、久光スプリングスに一任する。

(4) ビーチバレーボールの部

- ① 候補選手については、県内高校生とする。
- ② 候補選手は、下記の選考を以って、国スポ対策委員会及び強化委員会）が総合的な判断により選出する。
① 一次選考：候補選手選考会を基に候補選手を10名程度選出する。
② 二次選考：候補選手に対して合同練習会を実施して、その活動内容を基に候補チーム（選手2名）を選出する。

- ③候補チーム(選手2名)は、常任理事会に諮り、常任理事会で審議し最終決定する。
 ④候補選手に欠員が出た場合は、強化委員会が審議選出し国スポ対策委員会に諮る。国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。

(5) 中学生の部(JOC 選抜)

- ① 候補選手の選考は、下記の大会を基準として各地区の強化担当の指導者と佐賀県バレーボール協会中学校部会強化委員会が身体能力、将来性等を考慮し、総合的に判断して選出する。
 ○新人大会(11月) ○選抜優勝大会県予選会(2月)
 ○県選手権大会(4月) ○県総合体育大会(7月)
- ② 各大会の実施後に、それぞれの地区で実施される強化練習会やリーグ戦を候補選手選考の参考にする。
- ③ 本人、保護者の了承を得られ、かつバレーボールに対して意欲があること。
- ④ 候補選手は、県協会中学校部会常任理事会において中学校部会強化委員会が報告する。
- ⑤ ④の後、候補選手は、佐賀県バレーボール協会常任理事会(以下、常任理事会)に諮り、常任理事会で審議して最終決定する。
- ⑥ 選手に欠員が発生した場合は、中学校部会強化委員会が協議決定し、中学部会常任理事会へ報告する。
- ⑦ ⑥の後、佐賀県バレーボール協会国民スポーツ大会強化対策委員会(以下、国スポ対策委員会)に諮り、国スポ対策委員会は、これについて協議決定し常任理事会に報告する。

2 代表チーム監督の決定について

- (1) 監督については、国スポ対策委員会で審議し監督候補を選出する。
- (2) 国スポ対策委員長は、監督候補本人並びに所属長の承諾を得て常任理事会に諮り、常任理事会で審議して決定する。
- (3) 国スポ対策委員長は、常任理事会の審議結果を代表監督本人及び所属長に報告する。
- (4) 監督以外のチームスタッフについては、代表監督が選考推薦して強化対策委員会及び常任理事会に報告する。
- (5) 成年女子の部については、久光スプリングスに一任する。
- (6) 2024年国民スポーツ大会まで少年男子・女子及び成年男子の監督については、特別の理由がない限り変更しない。
- ① 少年男子の部: 蒲原 和孝(佐賀学園高等学校)
- ② 少年女子の部: 野中 健志(佐賀清和高等学校)
- ③ 成年男子の部: 千々岩将貴(有田小学校)
- ④ ビーチバレーボール
 少年男子の部: 藤山 文比呂(牛津高等学校)
 少年女子の部: 春野 修司(テクノカルチャーシステム)

10 佐賀県体操協会

項 目	内 容
選考方法	一次選考：国スポ予選会により上位より指名 二次選考：それぞれの強化部より国スポ候補選手として指名 最終選考：SAGA2024国スポ選手を佐賀県体操協会より指名
選考基準	強化練習、国スポ予選会の成績等、総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	一次選考：国スポ予選会の内容を基に選考。 二次選考：それぞれの強化部により強化練習会を実施し選考。 最終選考：常任理事会により選手を選考。

その他	参加者は佐賀県体操協会の会員であること。 また、令和6年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県体操協会事務局
	担当者名	坂井 欣吾

11 （一社）佐賀県バスケットボール協会

項 目	内 容
選考方法	【成年】 1次選考；春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考 2次選考：強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を強化委員会において指名・県協会理事会にて承認後に決定
	【少年】 第一次選考 20名～30名程度 トライアウト方式 第二次選考 一次選考後、強化練習会、強化試合、強化遠征等でエントリー選手及び予備登録選手を決定
選考基準	【成年男子】 ・週2～3回の強化練習会への参加 ・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加 ・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手 ・技術面・身体面において国体で戦える選手かを判断する ・SAGA2024国スポへの強い意欲があるもの
	【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加 ・ふるさと選手に関して、現状の所属チームにおいての実績と選手個人の意欲、強化練習会や強化合宿などのへの参加後に選考 ・その他、随時選考の機会は可能な限り期間内に設ける ・SAGA2024国スポへの強い意欲があるもの
選考基準	【少年男子】 1 SAGA2024国スポへの意欲・意思 2 プレースタイル ・コンタクトを好む ・1対1で戦うことを好む 3 ファundamentals ・基本技術の実戦での実践力（フットワーク、パッシング、ドリブル、シュート力、リバウンディング） ・オフェンス、ディフェンスのスペーシングの理解 4 運動能力 ・クイックネス能力・スプリント・ジャンプ力 5 その他 ・特殊な能力（シュート力、リバウンド力、リーダーシップなど）

選考基準	【少年女子】 1、SAGA2024国スポへの意欲・関心・態度 ① 取り組む姿勢②ハッスル③コミュニケーション能力 2、身体的能力 ①サイズ感②スピード③パワー④クイックネス⑤ストップ 3、技術的能力 ①シュート力②パスの強さと正確さ③リバウンド④対人防御⑤プレイの巧みさ 4、判断力 ①プレイの選択②オフボール時の動き→スペーシング（合わせ）③DFカバーリング	
	【成年男子】 ・7月中旬までの強化練習会、強化試合において随時選考する。	
選考の内容	【成年女子】 選考練習会・選考試合の実施 1次選考：強化練習会・強化合宿を実施（15名程度） 2次選考：強化練習会・強化練習試合において最終選考	
	【少年男子】 体力測定、スキルテスト（ドリブル、パス、シュート）、対人技能、scrimmage等	
	【少年女子】 身体能力テスト 20mスプリント、ボックスアジリティ、3往復×3ダッシュ、ロングチェストパス、ハーフコート、1on1、フリースロー、リング下シュート、ジャンプシュート、セットシュート、3on3ラリー、5on5	
問合せ先	名称	（一社）佐賀県バスケットボール協会
	担当者名	中村 洋介

12 佐賀県レスリング協会

項 目		内 容
選考方法		一次選考：佐賀県強化選手の中から、佐賀県国スポ候補選手として、強化委員会より指定。 二次選考：国スポ佐賀県予選会を実施し、強化委員会より指定。 最終選考：国スポ候補選手の中から、各大会の成績等を考慮し、成年5名、少年7名、女子1名を強化委員会より指名。
選考基準		強化練習、各大会の成績等を総合的に勘案し、上位入賞を期待できる選手を選考。
選考の内容		一次選考：過去の実績等をもとに強化委員会の協議にて選考。 二次選考：国スポ佐賀県予選会の成績等を見て強化委員会の協議で選考。 最終選考：各大会の成績等を見て強化委員会の協議で選考。
問合せ先	名称	佐賀県レスリング協会 事務局
	担当者名	嶋江 翔也

13 佐賀県ウエイトリフティング協会

項 目		内 容
選考方法	少年男子：7月7日（日）に開催する県国スポ予選会、インターハイの結果を参考にする。	
	成年男子：7月7日に開催する県国スポ予選会の結果を参考にする。	
	女子：7月7日に開催する県国スポ予選会の結果を参考にする。	
	全がコリーテで開催県枠となる。	
選考基準	選考基準表を作成し上位入賞可能性の高い選手を選考する。	
選考の内容	選考委員会で審議し、佐賀県代表選手として相応しく他の選手の模範となる者であり、上位入賞の可能性がある者を選考する。	
その他	当該年度の日本協会及び佐賀県協会の登録者であること。	
問合せ先	名称	佐賀県ウエイトリフティング協会
	担当者名	小川 稔

14 佐賀県ハンドボール協会

項 目		内 容
選考方法	一次選考：男女各20名を強化選手として、強化部より指名	
	二次選考：男女各16名を国スポ候補選手として強化部より指名（他種別（成年男女、少年男女）の監督、コーチより投票により選出）	
	最終選考：SAGA2024国スポ選手男女12名を佐賀県ハンドボール協会より指名	
選考基準	強化練習会などで他種別（成年男女、少年男女）の監督、コーチより投票により選出、また新人戦、選抜予選、春季、総体の成績等、総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待できる選手を選考する。	
選考の内容	一次選考：新人戦、選抜大会、春季大会、総体及び強化練習会の内容を基に選考（他種別（成年男女、少年男女）の監督、コーチより投票により選出）	
	二次選考：6月から7月までの期間に強化練習会を8回実施	
	最終選考：8月から9月までの期間に強化練習会を15回実施	
その他	参加者は佐賀県ハンドボール協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県ハンドボール協会
	担当者名	小松 義貴

15 佐賀県自転車競技連盟

項 目		内 容
選考方法	国民スポーツ大会選手男女9名を佐賀県自転車競技連盟より指名	
選考基準	強化練習会、各種公式大会成績等、総合的に勘案し、国民スポーツ大会で上位入賞の期待できる選手を選考	
選考の内容	強化練習会を5月より毎月実施	

その他	日本自転車競技連盟の佐賀県登録	
問合せ先	名称	佐賀県自転車競技連盟（龍谷高等学校）
	担当者名	浅井 正史

16 佐賀県ソフトテニス連盟

項 目	内 容	
選考方法	強化部で国スポ県選考会を実施して、その後の練習会で他の選手を選考する。	
選考基準	強化部で国スポ県選考会を実施して第1位を内定、その後の練習会で他の選手を選考する。	
選考の内容	予選会実施予定 ・成年男子 （2/11(日)、6/8(土)、6/9(日)) ・成年女子 （4/7(日)、6/1(土)、6/2(日)) ・少年男女 （6/1(土)、6/2(日))	
その他	強化部で選考された選手を常任理事会に具申し、常任理事会で審議、決定する。	
問合せ先	名称	佐賀県ソフトテニス連盟
	担当者名	佐伯善春

17 佐賀県卓球協会

項 目	内 容	
選考方法	令和6年7月15日（月・祝）佐賀市立体育館において、少年の部の選手選考会を行う。成年男子は佐賀県メンター選手3名・成年女子は佐賀県契約選手3名を4月14日の佐賀県卓球協会理事会にて決定した。	
選考基準	予選結果および今年度の各成績を判断して協会にて決定する。	
選考の内容	常任理事会において、少年男子・少年女子は予選会上位及び今年度の大会成績を審議し決定する。	
その他	推薦者並びに予選会参加資格者は国民スポーツ大会出場資格とする。	
問合せ先	名称	佐賀県卓球協会
	担当者名	事務局長 江崎育郎

18 佐賀県軟式野球連盟

項 目	内 容	
選考方法	一次選考：約35名を強化選手として、強化部より指名 二次選考：約25名を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：SAGA2024国スポ選手25名を佐賀県軟式野球連盟より指名	
選考基準	強化練習、強化遠征、県大会の成績等、総合的に勘案し、本国体で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：県大会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：4月から8月までの期間に強化練習会を約20回、強化遠征を3回実施 最終選考：8月から9月までの期間に強化練習会を4回実施	

その他	国民スポーツ大会の出場資格は、「公益財団法人全日本軟式野球連盟細則」第5条に定める。	
問合せ先	名称	佐賀県軟式野球連盟事務局長
	担当者名	森脇正弘

19-1 佐賀県相撲連盟（成年）

項 目	内 容	
選考方法	【成年男子】 4月21日（日） 1次予選会 6月16日（日） 最終予選会	
選考基準	【成年男子】 4月21日（日） 国スポ正選手2名（予選通過1位と2位）を決定。 6月16日（日） 4月21日（日）の予選通過3位～5位の選手を対象とする。 予選会を実施し、勝ち数の多い者から正選手、控え、予備とする。	
選考の内容	【成年男子】 リーグ戦とする。	
その他	【成年男子】 ※合同稽古等に関する全ての調整は、成年監督にて行う。 ※強化合同練習会等に、真にやむを得ない理由（冠婚葬祭等）で欠席となる場合は、速やかに成年監督へ連絡すること。	
問合せ先	名称	佐賀県相撲連盟
	担当者名	監督 西 祐輔

19-2 佐賀県相撲連盟（少年）

項 目	内 容	
選考方法	【少年男子】 1. 3回の予選会（リーグ戦）によるポイント制 2. 強化練習出席率によるポイント制 3. 指導陣からのポイント制	
選考基準	【少年男子】 予選会実施とポイント制を導入し、正選手を決定する。 ポイントは、350点満点とし、高得点の選手から正選手とする。	

選考の内容	【少年男子】 1. 3回の予選会（リーグ戦）によるポイント制 開催日は、4月21日(日)・6月2日(日)・6月30日(日)とする。 予選会場は、唐津市健康の森公園相撲場及び多久高等学校相撲場とし、開催時間については、少年監督より連絡する。 各予選会で、勝ち数の多い選手上位5名まで得点を与える。点数は以下のとおり。 <u>1位 50点 2位 40点 3位 30点 4位 20点 5位 10点</u> ※予選会の最高得点は、予選会3回×50点で150点となる。 2. 強化練習出席率によるポイント制 第1回の予選会後の強化合同練習会（少年の部単独開催も含む）参加回数の多い順に得点を与える。見学は、2回で1回参加とする。点数配分は上記1のとおり。 ※同率になる場合もある。回数把握については、稽古日誌にて出席者を記録する。 3. 指導陣からのポイント制 コーチ陣3名の推薦の各上位5名に得点を与える。点数配分は上記1のとおり。6月30日(日)最終予選会で4月21日以降の選手の取組み状況を鑑み、ポイントを割り振る。	
	【少年男子】 ※国スポ正選手になった者は、必ず計画された稽古に参加すること。 少年監督より強化合同練習会及び出稽古等のスケジュールを共有する。	
問合せ先	名称	佐賀県相撲連盟
	担当者名	小形 祥三

20 佐賀県馬術連盟

項 目	内 容
選考方法	県馬連指定の強化合宿・試合に参加出来るもの（日馬連B級ライセンス以上の騎馬資格を有すること） * 成年男子－MB以上クラス・セントジョージクラス * 成年女子－MC以上クラス・セントジョージクラス。 * 少年－MD以上クラス・Jrライダー課目以上 （人馬の組み合わせを考慮し選手・種目を決定する。） * 2024佐賀国スポ選手選考委員を任命し、委員による選手選考会を実施し、合格したものを理事会にて承認する。
選考基準	本国スポにおいて使用する予定の馬匹にて、上位入賞が期待できる人馬を優先的にして種目の割り振りを行う。
選考の内容	・各指定された種目にて完走できること。 ・国スポの実施グレードを考慮し、日馬連主催の3スター以上の競技会にて完走できること。 ・馬場馬術競技に於いては、58%以上が安定して出せる事。 ・本国スポに使用予定の馬匹にて上位入賞が期待出来る内容の走行が出来る事。
その他	参加者は、佐賀県馬術連盟の会員であること。又、当該年度の登録費を完納していること。

問合せ先	名称	佐賀県馬術連盟事務局
	担当者名	事務局長 今村正道

21 佐賀県柔道協会

項 目		内 容
選考方法		一次選考：男女各階級 3 ～ 4 名を強化選手として強化部会より指名 二次選考：男女各階級2名を国スポ候補選手として強化部会より指名 最終選考：SAGA国スポ選手男女各階級1名を佐賀県柔道協会より指名 ※今年度最終選考
選考基準		強化練習会や各種大会及び国スポ選考会等を勘案し、SAGA国民スポーツ大会でチームとして一丸となり上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容		今までの実績や各種大会、国体選考会（7月中旬）等を基に選考
その他		当該年度の全柔連登録が完了していること
問合せ先	名称	佐賀県柔道協会事務局
	担当者名	宮 崎 豊

22 （一社）佐賀県ソフトボール協会

項 目		内 容
選考方法		全国大会の佐賀県予選会にて優勝し、九州大会や全国大会でも好成績を収めているチームから選ぶ。
選考基準		全国大会の佐賀県予選会にて優勝し、九州大会や全国大会でも好成績を収めているチームの中で本大会での活躍が期待できる選手から選ぶ。成年女子は、県内に社会人チームがないのでふるさと選手を中心に選考する。また、少年男子は県内唯一の牛津高校の選手から本大会での活躍が期待できる選手。
選考の内容		成年男子 ダイワアクトの選手で本大会での活躍が期待できる選手 成年女子 佐賀女子高OBでJDリーグのチームで活躍する選手でふるさと選手希望者から選考 少年男子 牛津高校の選手で本大会での活躍が期待できる選手 少年女子 佐賀女子高の選手で本大会での活躍が期待できる選手
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県ソフトボール協会
	担当者名	日吉照彦

23 (一社) 佐賀県フェンシング協会

項 目		内 容
選考方法	【少年男女】	一次選考：2023年度の成績を踏まえ4名を強化選手として強化委員会が指名 (強化選手は指定された大会に出場し、その成績によってポイントが加算される) 最終選考：国スポ選手男女3名を佐賀県フェンシング協会が指名
	【成年男女】	一次選考：2023年度FJE個人ランキング上位4名を強化選手として強化委員会が指名 最終選考：国スポ選手男女3名を佐賀県フェンシング協会が指名
選考基準	【少年男女】	県内外大会や県選考会等に出場する。その成績によって選手にポイントが加算される。そのポイントを踏まえ、強化選手4名のうちから国スポ選手3名を決定する。
	【成年男女】	総合的に勘案し、国スポでエペ・サーブル優勝を期待できる選手を選考
選考の内容	【少年男女】	・大垣選手権大会 ・中日本選手権大会 ・全九州高校体育大会 ・全九州選手権大会 ・県選考会 (第1回・第2回・第3回)
	【成年男女】	・県選考会
その他		・3名を国スポ候補選手とするが、怪我などにより直前に出場できない可能性も考慮し、1名は補欠選手として強化選手と一緒に遠征を行う。 ・国スポ候補選手が学業不振や素行等の問題行動により信用を失った場合は、選手交代される場合がある。
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県フェンシング協会
	担当者名	野本 尚子

24 佐賀県バドミントン協会

項 目		内 容
選考方法	一次選考成年：男女各4～5名を強化選手として、競技力向上部より指名	
	最終選考：少年男女は春季大会、高校総体での優勝者 成年男女は実業団との強化練習会時に選考 佐賀国スポ選手、各種別3名を競技力向上部より指名	
選考基準		強化練習、春季大会、高校総体の成績等を総合的に判断し、佐賀国スポで上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容		少年男女：春季大会(4月)、高校総体(5月末)の結果を基に選考 成年男女：7月に実業団との強化練習会を実施し選考
問合せ先	名称	佐賀県バドミントン協会 競技力向上部
	担当者名	森田 広貴

25-1 佐賀県弓道連盟（成年）

項 目		内 容
選考方法		一次選考：男女各10名程度を強化選手として強化部より指名 二次選考：男女各6名程度を佐賀国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：佐賀国スポ選手男女各3名を佐賀県弓道連盟より指名
選考基準		佐賀県代表選手としての自覚を持ち、射形、体配、的中を総合的に鑑み、佐賀国スポにおいて上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容		一次選考：各種選考対象大会及び選考会の内容をもとに選考 二次選考：各種選考対象大会及び2月～4月に強化練習を数回実施 最終選考：5月～7月に強化練習を数回実施
その他		・参加する方は佐賀県弓道連盟の会員であること ・強化選手は強化練習及び合宿・遠征等に参加出来ること
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟 成年監督
	担当者名	岩屋 洋太郎

25-2 佐賀県弓道連盟（少年）

項 目		内 容
選考方法		・遠的記録会（2月～3月） ・選考会①（6月9日） ・選考会②（7月13、14日）
選考基準		的中、射形、体配から、本大会で活躍可能な選手を選抜
選考の内容		・遠的記録会（2月～3月） ・選考会①（6月9日） →遠的・近的競技を実施、 遠的記録会の結果を含め、男女数名ずつ選抜 ・選考会②（7月13、14日） →鹿児島遠征を実施（選考会①で選抜された選手のみ参加）、 遠征時の結果の内容から少年監督より代表選手を指名
その他		選考対象は、県内高校生及び各地区の連盟会員高校生であり、 原則6、7月の選考会に参加した者とする
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟・佐賀県立武雄高等学校
	担当者名	井手 悠

26 佐賀県ライフル射撃協会

項 目		内 容
選考方法		国スポ選手選考委員会で選考決定する。 ・ 1次選考 6月までの資料で選考し選手として決定する。 ・ 2次選考 1次選考で決定しづらい種目については、7月の大会等の成績も含めて選考し選手として決定する。
選考基準		天皇杯得点を多くとり、ライフル競技天皇杯総合入賞することを目指して選考する
選考の内容		○成年のライフル種目 ① 5, 6月の県選考記録会及び、同時期(4～6月)の大会成績により選考する。 ② FR3x20及びR3x20については副種目のS40及びP60も考慮する。S40については前回大会のSの記録上位8名より高得点の場合考慮する。P60については前回大会のP60の記録上位8名シリーズ平均よりR3x20のPの平均が高得点の場合考慮する。 ③ エントリー選手のいない種目については、他の大会成績等により、委員会で協議し決定する。 ○Jr種目 九州高校等の県外大会の成績で選考する。また、SAGAサンライズパーク射場等での記録会成績も参考にする。記録は本選記録を基本とするが、大会でのファイナルの成績も参考にする。 ○成年ピストル種目（AP） SAGAサンライズパーク射場で選考記録会を行い、選考する。 （25m） 県ラ理事 立ち会いの下、警察内部で記録を取り、選考する。
その他		選手資格：国スポライフル射撃競技の参加資格を満たしているもの。
問合せ先	名称	佐賀県ライフル射撃協会事務局
	担当者名	高柳 喜人

27 （一社）佐賀県剣道連盟

項 目		内 容
選考方法		成年においては、3月に国スポ強化選手候補選考会を実施し、先鋒・次鋒・中堅・副将・大将の各部門において試合を実施（1部実施できない部門もあった）し各部最高4名を選考した。また、3月に実施できなかった部門について4月に選考会を実施した。少年においては、これまでの遠征試合や各種大会の実績を考慮して男女各10名を選考。
選考基準		強化試合、4月の宮崎遠征、5月の埼玉遠征及び上記の成績等を総合的に勘案し、本国体で上位入賞につなげることが期待できる選手を選考。

選考の内容	一次選考：これまでの選考会・遠征試合結果の内容を基に選考
	二次選考：6月～7月までの期間に強化錬成会を10回実施、強化試合（北部4県）を1回実施 少年においては高校総体の結果を踏まえ男女各10人から各7名に絞った 最終選考：8月に強化錬成会を4回実施、強化試合（鹿児島）を1回実施 少年の部においては関東遠征・京都、奈良遠征等の実績をみて判断
その他	参加者は佐賀県剣道連盟会員であること。または、国スポふるさと選手であること。
問合せ先	名称 一般社団法人 佐賀県剣道連盟
	担当者名 白石 務

28 佐賀県ラグビーフットボール協会

項 目	内 容
選考方法	・少年は高校総体等で選考をしている。 ・成年、女子は強化委員会で選考をしている。 ふるさと選手については強化委員会より本人への打診とチーム関係者との協議により選考をしている。
選考基準	・第78回国民スポーツ大会で上位入賞が期待できる選手の選考 ・強化委員会が実施する夏の合宿及び強化練習会に参加できること。 ・成年及び女子については、ふるさと選手の活用が必要であるが、個人及びチーム状況等を配慮しながら選考を行っている。
選考の内容	・少年は選考会等の結果により、強化委員会で決定している。 ・成年及び女子等については県内選手だけのチーム編成では厳しい状況があるので、ふるさと選手の選考が重要であるが、所属チームの状況を把握しながらの選考となる。
その他	・選手選考の意思決定としては、強化委員会で決定し協会理事会へ報告
問合せ先	名称 佐賀県ラグビーフットボール協会
	担当者名 尾形孝則

29 佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟

項 目	内 容
選考方法	一次選考：4月上旬県予選会を実施 国スポ参加資格選手より候補選手を男女上位2～3名を選出 種別によっては、一次選考で決定する場合もある。 二次選考：候補選手から男女2名を連盟より指名
選考基準	強化練習、県予選会、リード・ボルダリングユース大会(盛岡)、その他の大会等の成績を総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	一次選考：県予選会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：4月から6月までの期間に強化練習会を5回実施
その他	参加者は佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。

問合せ先	名称	佐賀県山岳・スポーツクライミング連盟
	担当者名	武末 良樹

30 佐賀県銃剣道連盟

項 目	内 容	
選考方法	一次選考：少年男子・成年男子共に5名程度を強化選手として指名 二次選考：予選大会を実施し各4名国スポ候補選手として指名 最終選考：国スポ選手各3名を佐賀県銃剣道連盟より指名	
選考基準	強化練習、九州大会、全国大会の成績等、総合的に勘案し、国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	全国大会及び選考会の内容を基に選考	
その他	予選会の順位のための選考ではなく、各種大会の成績等を総合的に判断し選手選考の資とする。	
問合せ先	名称	佐賀県銃剣道事務局
	担当者名	河合 大地

31 佐賀県スケート連盟

項 目	内 容	
選考方法	佐賀県スケート連盟が指定する練習会等に参加し、県内選考会を踏まえ選考する。選考会出場者が参加人員選手枠内で県内選考会が必要ないと認められる場合は、参加資格基準を満たしている場合に限り、本連盟で検討し決定する。	
選考基準	国民スポーツ大会競技要項に示される参加資格基準（年齢基準、（公財）日本スケート連盟バッジテスト基準級以上）を満たしていること。	
選考の内容	（１）スピード・ショートトラック 本連盟が指定する練習会等に参加し、県内選考会を踏まえ選考する。 （２）フィギュア 本連盟が指定する練習会等に参加し、県内選考会を踏まえ選考する。	
問合せ先	名称	佐賀県スケート連盟
	担当者名	松尾和子

32 佐賀県クレ射撃協会

項 目	内 容	
選考方法	佐賀県クレ射撃協会が指定する地方公式大会、強化練習（記録会）において、600点の内高得点300個の合計点数の成績により佐賀国スポ選手トラップ競技2名・スキート競技2名を決定	
選考基準	佐賀県クレ射撃協会が指定する地方公式大会、強化練習（記録会）において、600点の内高得点300個の合計点数の成績により選手を選考	
選考の内容	4月～7月までの期間に強化練習会（記録会）を7回実施	

その他	参加者は公益社団法人日本クレ－射撃協会の会員であること。 また、当該年度の協会費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県クレ－射撃協会
	担当者名	森田 光明

33 （一社）佐賀県空手道連盟

項 目	内 容	
選考方法	① 過去の戦歴を基にポイントを付ける。（書類選考） ② ①のポイントをベースに、各種大会結果のポイントを加算する。 ③ 7月に行われる全九州大会までを加算の対象とする。 獲得ポイントがトップの選手が原則国スポの選手となる。	
選考基準	ポイント制 （書類選考のポイントをベースに、各種大会の成績を加算する） 書類選考・・・A指定10P、B指定7P、C指定4P 各種大会・・・優勝（10P）、2位（8P）、ベスト4（6P）、 ベスト8（4P）、参加点（2P）	
選考の内容	第1次選考会・・・書類選考（3月）国スポ出場希望者 第2次選考会・・・県大会（4月） 第3次選考会・・・県内選考会（6月）少年は県総体含む 第4次選考会・・・全九州大会	
その他	参加者は令和6年度（一社）佐賀県空手道連盟の会員であること。 また、令和6年度の連盟登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	（一社）佐賀県空手道連盟
	担当者名	山本 史子

34 佐賀県スキー連盟

項 目	内 容	
選考方法	予選会を実施し、結果を基に練習会や合宿への参加状況等を考慮して常任理事会で決定し、理事会に報告する。	
選考基準	同上	
選考の内容	同上	
その他	①当該年度 佐賀県スキー連盟及びSAJ 登録者、または現住所・勤務地が佐賀県内にある者、出身中学・高校所在地が佐賀県内にある者。（高校生は競技者登録も必要とする） ②佐賀県内の中学校または高等学校に在籍する生徒であり、転校後6ヵ月以上経過している者。（ただし、一家転住による転校に関しては除外する） ③上記①②の2点において該当し、かつ県予選及び各全国大会出場に関し保護者の同意が得られている者。（中学生・高校生）	

問合せ先	名称	佐賀県スキー連盟事務局
	担当者名	立川 栄

35 佐賀県アーチェリー協会

項 目	内 容	
選考方法	国スポ予選会及び選手選抜委員会にて選考する	
選考基準	原則国スポ予選の結果を基に総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	各予選会の大会結果を総合的に判断	
その他	参加者は佐賀県アーチェリー協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アーチェリー協会
	担当者名	今江吉則

36-1 佐賀県カヌー協会（スラローム・ワイルドウォーター）

項 目	内 容	
選考方法	一次選考：男女10名程度を強化選手として、強化部より指名 最終選考：SAGA2024国スポ選手6名を佐賀県カヌー協会より指名	
選考基準	強化練習、前年度の各大会の内容を基に選考した者の中から、4/14大分県豊後大野市で開催された大野川スプリングカップカヌースラローム・ワイルドウォーター大会及び4/26～27東京都江戸川区に開催されたカヌースラローム日本代表選考大会を佐賀県予選と位置づけ、SAGA2024国スポでの活躍が期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：強化練習、前年度の各大会の内容を基に選考 最終選考：4/14大分県豊後大野市で開催された大野川スプリングカップカヌースラローム・ワイルドウォーター大会及び4/26～27東京都江戸川区に開催されたカヌースラローム日本代表選考大会の成績を基に選考する。	
その他	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納していること。 ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国スポに出場することを認める。	
問合せ先	名称	佐賀県カヌー協会事務局(神崎市役所監査事務局内)
	担当者名	事務局長 島 憲一

36-2 佐賀県カヌー協会（スプリント）

項 目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各25名程度を強化選手として、強化部より指名 二次選考：男女各20名程度を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：SAGA2024国スポ選手男女17名を佐賀県カヌー協会より指名	

選考基準	強化練習合宿、国際大会、高校総体の成績等、総合的に勘案し、国民スポーツ大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：令和 5、6 年度各種大会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：R 6、1 月から 6 月までの期間に強化練習会を 3 回実施 最終選考：7 月から 8 月までの期間に強化練習会を 1 回実施	
その他	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納していること。 ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国体に出場することを認める。	
問合せ先	名称	佐賀県カヌー協会事務局(神崎市役所監査事務局内)
	担当者名	事務局長 島 憲一

37 佐賀県ボウリング連盟

項 目	内 容	
選考方法	一次選考：県内予選会（3 回）を行いトータル 36 G で各種別上位 8 名ずつを選出。 2 次選考：一次選考会、全日本選手権（3 月）、全九州選手権（5 月）のトータル 57 ゲームで上位成年男女 4 名ずつ、少年男女 2 名ずつを選出。 最終選考：佐賀国スポ選手成年男女 4 名（補欠 1 名）ずつ少年男女 2 名ずつを佐賀県ボウリング連盟より指名	
選考基準	強化練習、全九州、全国大会の成績等、総合的に勘案し、本国スポ上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	一次選考：1 2 月 1 7 日、1 月 1 4 日、2 月 2 5 日に選考会の内容を基に選考。 二次選考：3 月 14 日～1 7 日の全日本選手権、5 月 1 1 日 1 2 日の全休選手権の内容を基に選考。 最終選考：5 月 2 6 日に選考委員会を行い国スポ選手を決定。	
その他	参加者は佐賀県ボウリング連盟の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。 また、メンターは優先的に選手とする。	
問合せ先	名称	佐賀県ボウリング連盟
	担当者名	前原健吾

38 佐賀県なぎなた連盟

項 目	内 容	
選考方法	（成年）一次予選：参加希望者によるリーグ戦（2 月） 二次予選：一次予選上位 6 名によるリーグ戦（4 月） （少年）一次予選：強化部で指定した選手 5 名によるリーグ戦（4 月） 二次予選：高校総体（6 月）	
選考基準	一次予選・二次予選の成績、前年度の全国大会の成績、強化練習等を総合的に勘案して国スポで上位入賞が期待できる選手を選考	

選考の内容		試合競技において 一次選考：選考会の内容を基に選考 二次選考：選考会の内容をもとに選手候補3名、補欠候補2名を選出 最終選考：8月までの強化練習会を定期的実施
その他		参加者は、佐賀県なぎなた連盟会員、または全日本学生なぎなた連盟の会員であること。 今年に限り、地元開催で上位入賞を目指し、早期に強化を始めるために予選会日程を早めている。この件に関しては令和5年12月に会員に連絡済み。
問合せ先	名称	佐賀県なぎなた連盟事務局
	担当者名	山本智子

39 佐賀県アイスホッケー連盟

項 目	内 容	
選考方法	①候補選手選定：9月開催の定期役員会（理事会）で監督1名、選手25名（ふるさと選手を含む）を前年度監督の助言で選定・承認。 ②九州プロ大会選手選定：10月上旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③冬季国スポ選手選定：12月中旬開催の臨時役員会（理事会）で監督1名、選手16名を選定・承認。	
選考基準	ふるさと選手を含めた社会人・学生合同の強化練習、県大会等、総合的に勘案し、選手を選考。	
選考の内容	①9月上旬開催の定期役員会（理事会）で監督1名、選手25名（ふるさと選手を含む）を前年度監督の助言で選定・承認。 ②10月上旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③12月中旬開催の臨時役員会（理事会）で本国スポ（冬季国スポ）の監督1名、選手16名を選定・承認。	
その他	参加者は日本アイスホッケー連盟への当該年度の登録を完了していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アイスホッケー連盟
	担当者名	淵上 栄

40 佐賀県ゴルフ協会

項 目	内 容	
選考方法	（女子）5月4日に36Hにて上位4名を選出、7月末日までに選手3名補欠1名とする。 （成年男子）5月6日に18Hで上位12名を18Hで、36Hにて4名を選出、7月末日までに選手3名補欠1名とする。 （少年男子）5月6日に18Hで上位4名を選出、7月末日までに選手3名補欠1名とする。	
選考基準	SAGA2024国スポ会場にて選考会開催 （女子）武雄嬉野CC （成年男子・少年男子）若木GC	

選考の内容	ストローク最小4名
その他	ティーマークも国スト同様ティ使用
問合せ先	名称 ゴルフ協会
	担当者名 江頭正次郎

41 佐賀県トライアスロン協会

項 目	内 容
選考方法	佐賀県トライアスロン協会が定めた選考基準に基づき、国民スポーツ大会において上位入賞が期待できる選手を佐賀県代表選手として選考する。
選考基準	1. 当該年7月31日時点で、ジャパンランキング40位以上の選手 2. 当該年九州ブロック選手権で、佐賀県内上位選手
選考の内容	上記選考で出場選手枠に満たない場合は、佐賀県強化指定選手・JTU認定記録会を参考に、佐賀県トライアスロン協会 強化委員会で審議し決定する。
その他	佐賀県代表選考大会までに当該年度JTU会員登録の手続きが完了している者
問合せ先	名称 佐賀県トライアスロン協会
	担当者名 強化委員長 柿塚晋也